

特集

祝 開通

国道57号



2016年4月。

各地に甚大な被害を残した熊本地震。熊本市方面へ通じる大動脈である国道57号も大規模な土砂崩れにより不通となりました。

すぐに迂迴路が整備されたものの、渋滞が頻発するなど不便な生活を強いられてきました。

あれから4年半。

ついに国道57号が開通しました。現道に加えて、北側復旧ルートが新たに整備され、より速く、より便利により安全になりました。

待ち続けた開通に沸くまちの様子をお届けします。

どきどき

わくわく

膨らむ期待



開通 1 週間前

トンネルウォーキング & トンネルライド開催

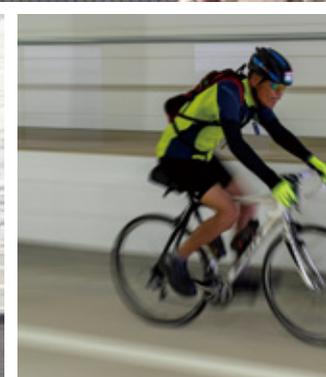


WebTV アソ
動画

トンネル開通まで1週間にせまった9月27日、トンネルの中を歩く「二重峠トンネルウォーキング」と自転車で走る「トンネルライド」が行われました。トンネルウォーキングには市民約500人が参加。大津町との境界部までの往復約2・4^キを歩き、折り返し地点や出入口付近で写真を撮るなどして楽しみました。参加した人は「トンネルの中を歩くのは初めての経験なので楽しかった。今度は車で出口まで走りたい」と1週間後に控えた開通に期待を抑えられない様子でした。

トンネルライドは九州各地から約550人が参加。秋晴れの中、小里の遊水地からトンネルの大津側出口までの往復約40^キを走りました。参加者の一人は「トンネルは新しい道でとても走りやすかった。行きは下りで気持ちよかったが帰りはきつかった」と少し疲れた様子でした。北側復旧ルートは自動車専用道のため、トンネル内を歩いたり自転車で走ったりするのは最初で最後の機会。いい思い出となったことでしょう。







- ① 北側復旧ルート開通式典での万歳三唱。
- ② パレードの車列が二重峠トンネルを渡り初め。
- ③ 現道部も同日開通。
- ④ 阿蘇西インターチェンジではあか牛くんたちもお出迎え。



Happy!

訪れる人をみんな笑顔に

阿蘇市観光協会 菊池 秀一 会長

熊本地震以降、阿蘇を訪れるお客さんは大きく減っていました。地震直後は団体客や修学旅行客がほぼゼロとなり、今後お客さんが戻ってくるのだろうか。と先行きが見えず、強い不安を感じました。少しずつお客さんも戻っていましたが、それでも地震前の賑わいとは程遠いものでした。国道57号が復旧したことはとても喜ばしく、これから阿蘇を訪れる人が増えるのは間違いありません。市民の皆さまと一丸となつて、阿蘇の魅力を増す新しい取り組みにチャレンジしていきます。



おいしいキャベツを食卓に

岩下青果 岩下 義文 さん

波野を中心に県内各地でキャベツを栽培しています。熊本市の青果市場に出荷しており、最盛期には大型トラック

大きなものでした。何より、カーブや荒れた路面でキャベツが傷つけないようにするのが大変でした。傷ついた

感無量。

10月3日、ついに迎えた**開通**の日

10月3日、阿蘇市民が待ち続けていたこの日がついにやってきました。熊本地震から4年半。国道57号北側復旧ルートと現道部の開通の日です。まず、開通に先立ち、午前11時から二重峠トンネル内で開通式典が行われました。式典では佐藤市長が「感無量です」とあいさつ、くす玉割り、万歳三唱を行いました。その後パレードの車列が渡り初めを行い、午後1時には一般車両も通行が可能に。最初に阿蘇側から通行したのはバイクを運転する坂東将さん（内牧3区）でした。一番に走るために阿蘇西インターチェンジ付近に

到着したのはなんと前日の午後5時半。坂東さんは「この時を4年半待ちました。それと比べると20時間待つなんて大したことはありません。沿道の横断幕や手を振る地域の人々を見るとどれだけこの道路が待たれてきたかを実感しました」と話しました。午後2時には現道部も開通。阿蘇市と熊本市内方面を結ぶ大動脈が完全に復活を遂げました。阿蘇市民待望の交通アクセスの改善。普段の暮らしが便利になるのはもちろん、観光業、物流、医療・福祉などあらゆる分野で開通による効果が期待されます。

Nannsam

クで毎日曲がりくねった山道を越えていました。運転による身体的な負担に加え、タイヤなど車体へのダメージによる経済的な負担も

キャベツはすぐに味も落ちてしまいます。安心して美味しいキャベツを食卓に届けることができるようになります。とてもうれしいです。



通勤がとても楽になりました

阿蘇医療センター 石田 洋昭 さん

阿蘇医療センターで看護師をしています。自宅が熊本市にあるので、毎日マイカーで通勤しています。トンネルの開通によりこれまで1時間半くらいかかっていた通勤時間が1時間で済むようになりました。山道でのハンドルやブレーキなど

の操作が減り、運転が楽になったのもうれいんです。トンネルで通勤が楽になり、他の地域の方が阿蘇で働くうえでハードルが下がったことは、人手不足に苦しむ医療や介護の現場にとってはとてもいいことだと思えます。



8,800人

10月3日～4日にかけて行われた開通を祝う感謝祭。
3つの会場は8,800人の笑顔で埋めつくされました。



WebTV アソ
動画

10月3日から4日にかけて、阿蘇市内3会場（はな阿蘇美、四季彩いちのみや、神楽苑）で感謝祭が行われました。

四季彩いちのみやではあか牛の鉄板焼き700食が振る舞われ、多くの人が舌鼓を打ちました。はな阿蘇美、神楽苑では露店やステージイベントで大盛り上がり。笑顔があふれる2日間となりました。

感謝祭を締めくくったのは3会場それぞれで打ち上げられた計1000発の花火。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により花火を見る機会がほとんどありませんでした。開通を祝う色鮮やかな打ち上げ花火は人々の記憶にしっかりと刻まれたことでしょう。



